

リアルタイム情報

ワカマツ生産者がポストパレット利用促進に向けて意見交換

令和3年7月16日（金）に神栖市商工会館会議室にて銚田普及センター主催でポストパレット利用促進検討会を開催し、鹿嶋、神栖地域のワカマツ生産組合の代表者10名、関係機関5名が出席しました。

ここ数年、ワカマツ生産者によるポストパレットの利用が増えています。ポストパレットを利用した出荷は、従来の方法と比べて、トラックへの積み込みなど各作業を省力化する効果があります。一方で、利用拡大に向けては、市場からの回収費用の産地負担軽減など、解決すべき課題が残されています。

そこで、昨年度から、地域のワカマツ生産組合の代表者が一同に会して、課題の共有と解決に向けた意見交換を行い、生産組合が連携した取り組みを始めました。

今回は、昨年度の取り組み成果や残された課題の共有と、今年度の取り組みについて検討しました。その結果、今年度は、生産組合の連携をさらに強め、流通関係者の協力をさらに働きかけることになりました。

普及センターは、今後もワカマツ生産者の作業改善や新技術導入の取り組みを支援していきます。

令和3年7月30日 （成長産業）

